

パネルディスカッション

ビッグデータ時代に対応する
九州地域のこれからの産学官連携について

2013年11月28日

青木栄二

blue@hyper.or.jp

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

BIG DATA

A Revolution That Will Transform How We Live, Work, and Think



- ビクター・マイヤー＝
ショーンベルガー
- ケネス・キクエ

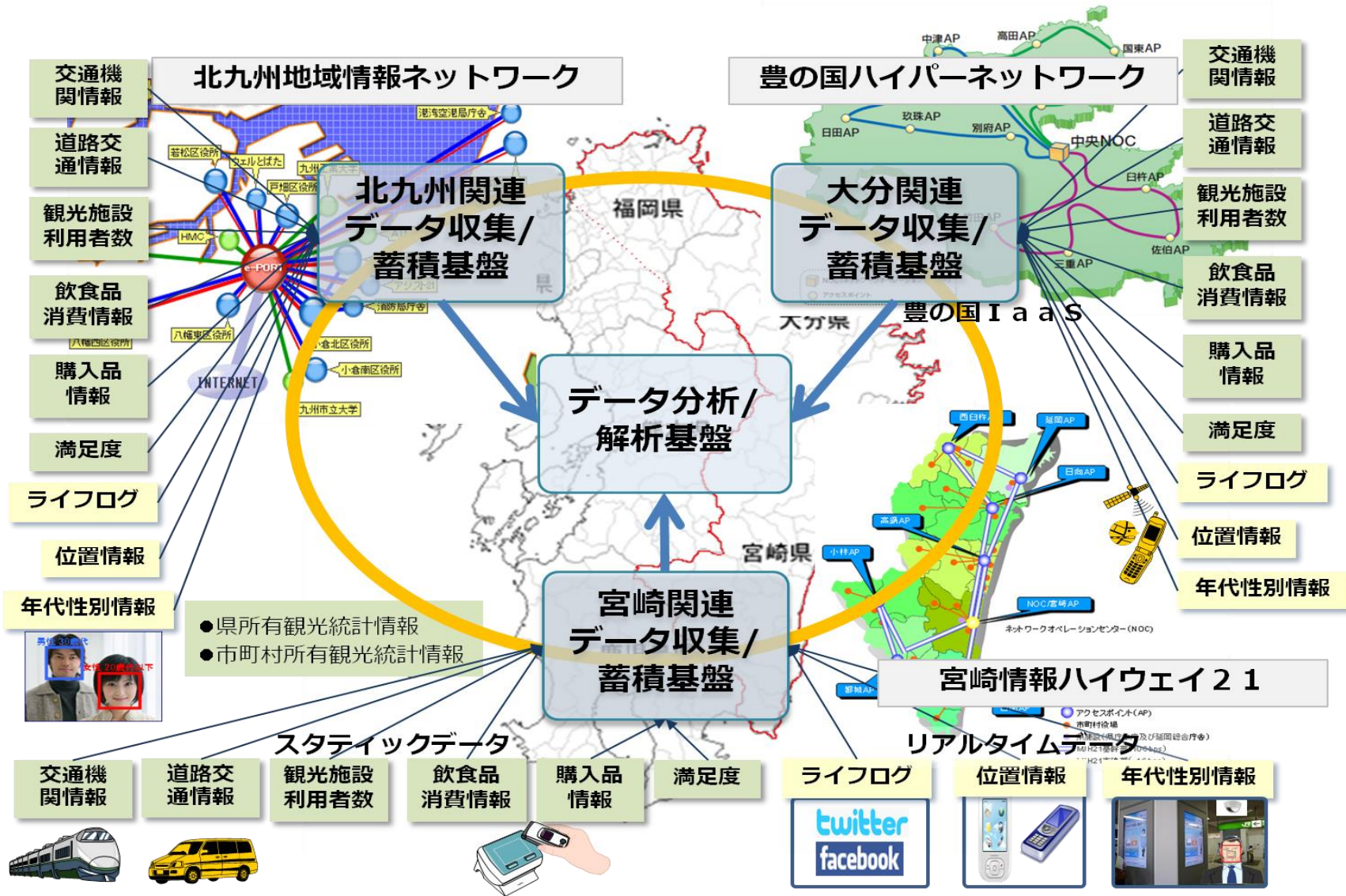
伊藤穰一 (MITメディアラボ所長)

「押し寄せる情報の波によって、世の中の捉え方自体が根本から変わろうとしている。この事実をあぶり出すうえで新境地を切り開いたのが、本書『ビッグデータの正体』だ。企業はいかに新たな価値を生み出すことができるのか、人々は物事の認知のあり方をどのように変える必要があるのか——本書は大胆な主張と見事な語り口でその答えをはっきりと示している」

九州地域IT関連成長産業振興・発展対策活動事業

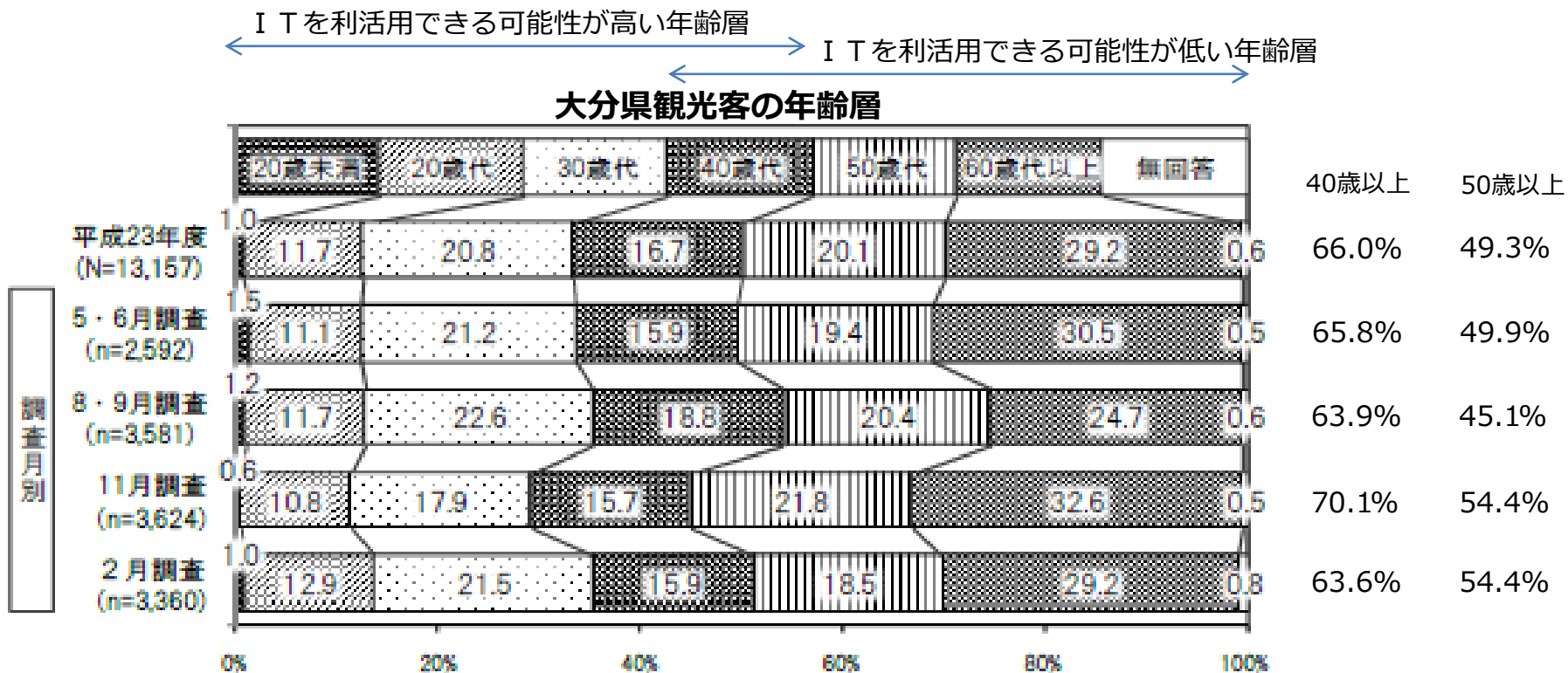
- 高度IT化に向けたビッグデータ解析市場形成のためのビッグデータ活用ネットワークの構築
 - 活用分野の検討とそれら課題のリストアップ
 - 課題解決のための対象情報(データの種類)の抽出と収集方法の検討
 - ビッグデータ活用のためのワークプランの検討
 - 対象情報と収集方法の確認
 - データ利活用・分析方法の検討
 - ビッグデータ解析基盤構築と運営に関する検討
 - ビッグデータ利活用による地域産業振興のための議論
 - 新規ビジネス創出におけるビッグデータ利活用のあり方に関する議論

例題：観光分野における活用

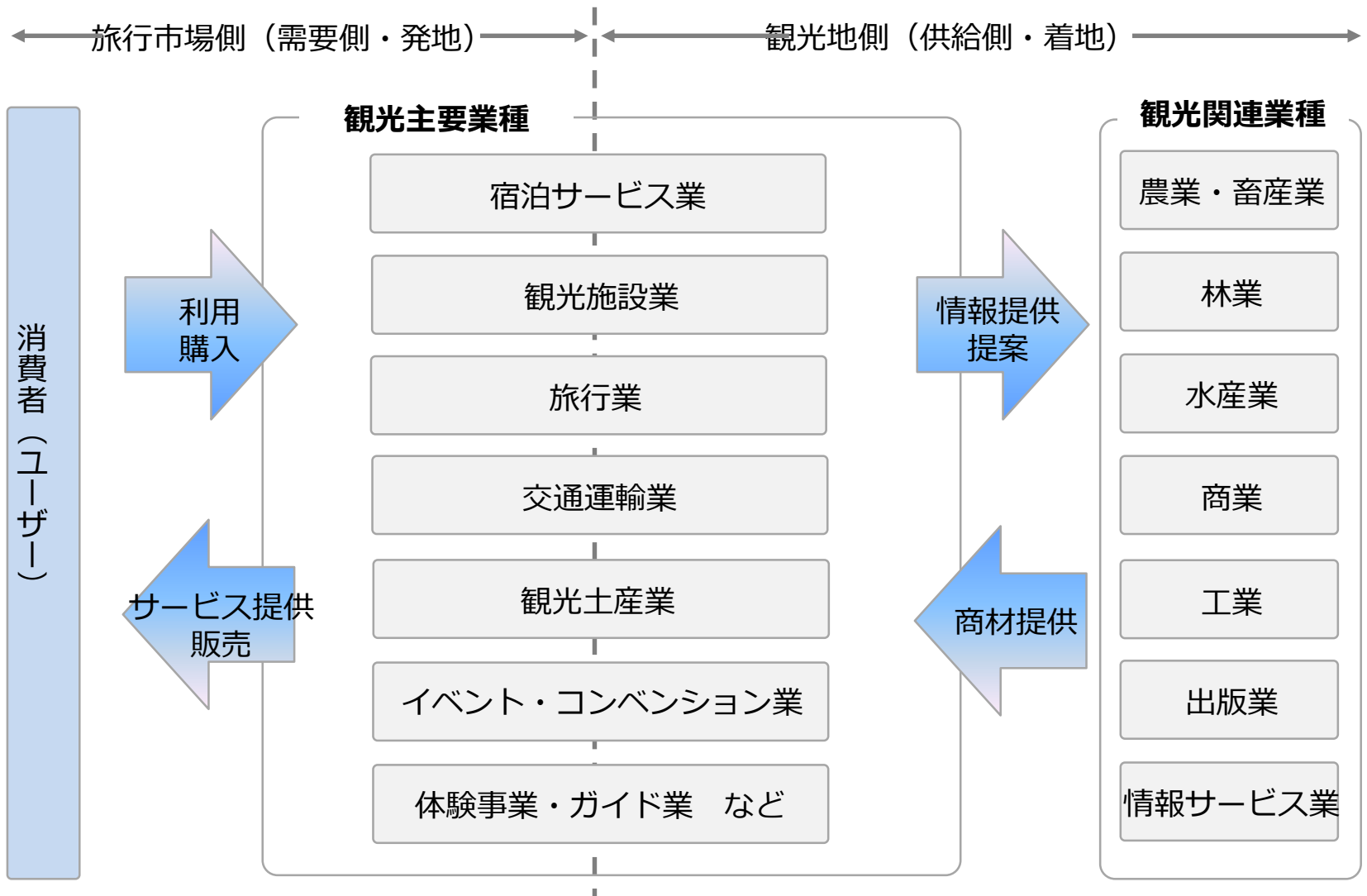


観光に関する従来の分析情報

- 観光の多様化が進んでいる現在、統計情報をどう見ていく？
- ウェブやSNSによって発信された情報はリアルタイムに動く？



観光には様々な産業とその情報が



九州情報政策連携フォーラム



パネルディスカッション～九州の未来社会をデザインする～ ＜ビッグデータパネル＞

- 人材育成の手法や機関の構築(データサイエンティスト)
- 積極的なデータ活用の普及啓発(地域の企業が地域のデータを)
- ビッグデータはなにも難しいものではない
- 身近なデータから(新たな発見、新たなビジネス)
- ビッグデータ基盤(分析結果の共同利用／利用コスト／運用方法)
- 九州広域で産学官が連携してアイデア創出
- FabLab
- そのための方向性の整理／実態の把握／課題対応の順次公開

ハイパーネットワーク社会研究所

- 本部：大分（事務所：東京）
- 設立：1993年3月29日
- 所管：内閣府
- 設立：
 - ①大分県
 - ②株式会社NTTデータ
 - ③日本電信電話株式会社
 - ④日本電気株式会社
 - ⑤富士通株式会社



- **よりよい情報社会構築のための各種活動**
 - ・情報社会・技術に関する調査研究や実証実験の実施
 - ・構想策定やパブコメなどによる提言及び普及啓発活動
- ①文理融合②学理と実地の融合③民・学・官融合